



4月7日に行われた御所野学院中学校・高等学校の開校・入学式

待望の中高一貫校が、今春開校しました。全国に先駆けて行われる、ゆとりと特色ある教育は、秋田っ子の豊かな人間性や社会性をはぐくんでいくことでしょう。21世紀にふさわしい教育がここから始まります。

四月七日、御所野学院高等学校が開校し、教育改革の柱となる中高一貫校がスタートしました。六年間を通じたゆとりのカリキュラムで、生徒の個性を生かす教育をすすめます。

小中学校では、地域のかたたちの協力を得ながらふるさとについて学ぶ「はばたけ秋田っ子」の授業を引き続き行います。英語指導助手の数を増やしたり、インターネットを活用し、国際理解教育や情報教育の充実もはかります。

勝平小学校の改築、飯島小学校の大規模改造に着手します。また、秋田商業高校の創立八十周年を記念して屋内多目的練習場を建設します。

太平山リゾート公園に建設を予定している(仮称)秋田市青少年自然文化ランドは、自然の中で体験活動が行える宿泊研修施設。平成十五年度のオープンをめざし、実施設計と用地造成を行います。

国体を視野に施設を充実

平成十九年秋田国体に向けて、ジュニア指導者の育成とスポーツ国際交流員を活用した各種競技の指導強化をはかります。また、二〇〇二年ワールドカップサッカーキャンプ誘致や国体のため、八橋球技場のグラウンドを芝生化します。勝平市民グラウンドにはナイター設備を設けます。平成十三年八月に開かれるワールド

秋田市の 財政状況を 見てみる。

目的を持った貯金です

基金の積立

今年度末の残高は142億円

基金(積立金)とは、いろいろな目的のために用意しておく市の貯金といえます。

左表のように基金には、市債を計画的に償還するために設けられている「減債基金」、大幅な税収減や突発的な支出に備える「財政調整基金」、また新庁舎建設のための積立金や文化・スポーツ振興のための基金などがあります。

今年度は予算編成の際、こうした貯金のうち、減債基金や財政調整基金から約29億円ほどを取り崩して一般財源に組み入れました。これにより平成12年度末の基金残高は142億円ほどになる見込みです。

第四章 ゆとりある教育文化都市 全国に先駆けて 中高一貫校が誕生